

News Release

2025 年 1 月 14 日

この資料は BASF が 2025 年 1 月 13 日に中国で発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF、電気自動車向けの革新的な Ultramid® T6000 グレードを発表

- 難燃性の Ultramid® T6000 が端子台に採用され、電気自動車業界に新たな信頼性の高いソリューションを提供
- 優れた耐熱衝撃性と電気絶縁性によって安全性が向上した新しい難燃グレード
- 非ハロゲン系難燃剤により腐食リスクを最小化し、安全性へのニーズに対応

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)はこのたび、開発した難燃(FR)グレードの Ultramid® T6000 ポリフタルアミド(PPA)が、新たに端子台に採用されたことを発表しました。このアップグレードソリューションは非難燃材料に代わるものであり、電気自動車(EV)のインバーターとモーターシステムの安全性を高めます。

Ultramid® T6000 は、従来の PA66 と PA6T のギャップを埋めるソリューションであり、特に湿度の高い条件下や高温下で優れた機械特性と誘電特性を発揮します。また、加工が容易で工具への腐食が少ないため、複雑な自動車用途に適しています。鮮やかな色合いを含む幅広いプレカラーオプションによって、Ultramid® T6000 は高い性能基準を維持しながら、美的柔軟性を高めます。

BASF パフォーマンスマテリアルズ事業本部 アジア太平洋地域エンジニアリングプラスチックビジネスマネジメント担当バイスプレジデントのエン・グアン・ソーは、次のように述べています。「配線端子やバスバーなど、EVの金属部品の設計や材料選択において安全性がますます重要になる中、BASF は EV 業界向けの革新的なソリューションの開発

に取り組んでいます。私たちの目標は、現在の設計ニーズに応えるだけでなく、将来の技術要件や安全基準に対応する最先端テクノロジーを開発するためのツールを提供することです。」

Ultramid® T6000 の難燃グレードは、EV 用途向けに設計されており、端子台用途に理想的な、非常に高い強度を提供します。この革新的な材料は、-40°C から 150°C までの熱衝撃に 1,000 サイクル耐えることで、新エネルギー車の電気システムの耐久性を向上させ、端子台や高圧バスバーに優れた電気絶縁性を提供し、車両の 800V プラットフォームの安全性を大幅に向上させます。注目すべき点は、非ハロゲン系難燃剤を使用していることであり、金属腐食のリスクを最小限に抑え、厳しい安全基準を満たし、火災発生時にも乗員を確実に保護します。

また、その優れた強度、剛性、寸法安定性によって、自動車組立の際の過酷な条件に耐える複雑な設計を可能にするとともに、複数の機能を 1 つの部品に統合することを容易にし、最終的には組立の簡素化と EV のスペース効率の向上を実現します。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF について

BASF (ビーエーエスエフ) は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション&ケア、アグロソリューション)から成ります。2023 年の BASF の売上高は 689 億ユーロでした。BASF 株式会社はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。

BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com/global/en> をご覧ください。

■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、プラスチックに求められる持続可能性への変革の最前線にいます。BASF の製品は、トランスポーター、消費財、インダストリアルアプリケーション、建築・建設という 4 つの主要産業分野にイノベーションをもたらすため、世界中のお客様と共同で開発をすすめています。私たちの研究開発は、プラスチックに関するすべての工程(プラスチックジャーニー)である MAKE(製造)、USE(使用)、RECYCLE(リサイクル)に焦点を当てています。製造段階では、製品の設計から原材料の選択、製造工程に至るまで、プラスチックの製造方法を改善します。使用段階では、軽量性、堅牢性、耐熱性といったプラスチックの強みを強化します。製品のライフサイクルの終段には、循環型経済を実現するためにどのようにプラスチックジャーニーを終了させるかを検討する「リサイクル」段階があります。2023 年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は 72 億ユーロを達成しました。

詳しい情報は、<https://www.performance-materials.basf.com> をご覧ください。